

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 2-ジメチルナフタレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

5 B 4 4 6 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: 1, 2-ジメチルナフタレン
- 2) 暴露方式: 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換, 密閉容器)
- 3) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間: 48時間
- 5) 試験濃度: 対照区, 助剤対照区, 0.50, 0.90, 1.6, 2.8 および 5.0 mg/L
(設定値) (公比 1.8, 助剤濃度一定: 50mg/L, HCO-30およびアセトン使用)
- 6) 試験液量: 125 mL
- 7) 連数: 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数: 20頭/濃度区 (1 連につき 5 頭で 1 濃度区20頭)
- 9) 試験温度: 20±1℃
- 10) 照明: 16時間明/8時間暗
- 11) 被験物質の分析: HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露開始時および 24 時間後に測定した被験物質の全実測濃度が、設定値の±20%以内であったので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.2 mg/L (95%信頼限界 : 0.90~1.6 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.50 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.6 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.1 mg/L (95%信頼限界 : 0.90~1.6 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.50 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.6 mg/L